

**意見交換会（宇治市都市計画マスタープラン）議事録**  
**対象：槇島地域**

日時：2021/10/15 19：00～20：20

会場：槇島コミュニティセンター

参加者：6名

宇治市：米田副部長、森田係長、藤田主任

発言者	内容
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は槇島にバスが走っていたが、今は宇治槇島線も出来て交通が便利になったはずなのにバスが走っていない。</li> <li>・ここ30年間、日本の経済が停滞しているのと同じように、槇島地域でも工場が縮小しており、本来の産業の集積地から遠ざかっているように見える。</li> <li>・東宇治地域でも、黄檗断層が通っている地域が第1種低層住居専用地域であるため、コンビニがつかれないと言われた。災害で孤立したら高齢者はどこに買い物に行くのか。もっと柔軟に物事を考える必要があるのではないか。</li> <li>・物事に柔軟に対応できるように規制緩和を行う必要がある。規制緩和は金もかからなければ、投資もいらぬ。</li> <li>・農業も屋外だけでなく、建物の中で水を循環させ太陽光を取り入れて行うことも出来る。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治市には魅力的なものづくりの企業が多くあり、槇島地域にも多く存在しますが、それらの企業も事業を展開する土地がなくて苦労されており、現在、産業戦略を立てて、それらの企業を守るために取り組んでいるところです。</li> <li>・農業についても、他の産業とバランスをとって一緒に伸びていくために、効率的・高付加価値的なものになるように支援しています。</li> <li>・土地利用の規制緩和は、規制がある方が良いと思われる人もおられるため難しい問題であり、都市計画では簡単には出来ませんが、建築基準法の運用の中で柔軟に対応するための取り組みを関係部署で進めているところです。</li> <li>・ただし、都市計画も世の中の変化に合わせて対応していく必要があり、今回のマスタープランでも「変化に適応できる都市計画プロセス」として、定期的に見直しを行い、必要に応じて内容を修正していくものになっています。</li> </ul>
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用の規制緩和は、やらないと変わらないが、やれば変わる可</li> </ul>

	<p>能性がかなりある。若い人は宇治市や槇島に魅力を感じずに市外に出て行く状況がずっと続いているので、そのようなことが起こらないようにして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新名神高速道路の開通に伴い、その周辺がロジスティックスの拠点になろうとしているが、何故、槇島には広大な土地があったにも関わらず何もできなかったかの反省も踏まえ、力を入れてまちづくりに取り組んでいって欲しい。</li> </ul>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近ではコロナウイルスの蔓延により、時間をかけて通勤するより、近場で豊かに生きるライフスタイルが変わって来ている。昔は槇島にも職住一体のものづくりの場が沢山あったことから、槇島の産業のポテンシャルは高い。農業も産業として成り立つ可能性のある唯一の場所だと思う。</li> <li>・道路が整備されていないと企業は宇治市から出て行ってしまう。また、公共交通がないと、職場に車で行くことになるので、会社は駐車場を用意しなければならなくなり負担になる。交通渋滞も増える。働く場をつくるのであれば、それと併せて道路と公共交通もセットで整備する必要がある。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の若い方は、車ではなく電車で通えるかどうか、企業を選ぶ基準になっていると聞きます。しかし、バスなどは地域住民の方の利用だけでは成り立たなくなっており、産業の誘致や久御山町のイオンモールの活用など、様々な要素を取り入れて公共交通の利用を促進していく必要があるため、その方法について検討しているところです。</li> </ul>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治徳洲会病院のバスなどはハブの役割をもっているため、規制緩和などを上手く行って、みんなで利用するような交通体系をつくれませんか。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治徳洲会病院のバスなどを路線バスとして活用するには、運輸局の許可が必要になり、競合する路線バスがある場合などは認めてもらうことが難しいです。そのため、バスの需要となるものをつくり出していかねばならないと考えています。</li> </ul>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害については、雨水貯留層などによる対策で、内水被害が落ち着いてきているが、ハザードマップには5m冠水の情報が記載されており、危険が強調され過ぎていないか。これから検討する産業集積地にも企業が来なくなるのではないか。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「5m」と言うのは最大の水害の想定であり、ゲリラ豪雨などで通常起こり得る水害については、データがある訳ではなく、過去に発生した水害の履歴をデータとして積み上げている状況です。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地を探している企業に対しては、災害のリスクについても伝えるようにしています。物流施設などは津波被害を避けるため内陸部を選んだり、施設を分散させたりする傾向があり、事業用地に選ばれる可能性は十分にあると考えています。そのためにも浸水対策により内水被害のリスクを低減していくことが重要だと考えています。</li> </ul>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道十一外線について、農協の前の道路と繋がる場所に点滅信号を付けてほしい。昔からずっと言い続けているが付けて貰えない。通学路にもなっていて危険である。</li> <li>・昭和26年の市町村合併の際、槇島村が手を挙げるのが遅れたこともあり、槇島には公民館や図書館、青少年センター、ふれあいセンターがなく冷遇されている。これらの施設を槇島につくって欲しい。</li> <li>・産業集積地をつくる上でも、まずは道路の整備が必要。</li> <li>・施設や環境などを整えても、それが活かされなければ意味がない。ハード面の整備だけでなく、出前講座を開催するなど、ソフト面によるまちづくりも重要である。</li> <li>・洪水は宇治川より木津川の方が心配である。宇治川より木津川の方が格段に放流量が多いので、木津川が決壊した時のことも想定した方がいい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害の想定については、木津川の氾濫も含めてシミュレーションしています。</li> <li>・市道十一外線の信号の件は、本市も設置に向けて取り組んできましたが、安全な交差点形状に変えないと警察に信号を設置して貰えず、課題となっています。本市もあの状態が良いとは考えていません。</li> </ul>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・槇島は平坦な土地で高齢者にも適しているのに、道路や歩道に段差があるのを改善して欲しい。槇島小学校の前の歩道も段差がある。</li> <li>・宇治徳洲会病院の前の交差点は、中央に十字の表示を入れて欲しい。右折車が道路を塞いでしまい、朝によく揉めている。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、整備する道路はバリアフリーの構造にしていますが、槇島小学校の前の歩道は元々あった側溝の上を歩道にしたため、路面が上がったり下がったりしています。本市も路面をなだらかに擦り付けるなど、出来る範囲での対応はしていますが、それで良いとは思っておらず、整備が必要と考えています。</li> <li>・宇治徳洲会病院の前の交差点は、ガードレールの形状を変えてから見通しが良くなり、事故も減っています。</li> </ul>